

横浜ダンスコレクション 2016 コンペティション本選出場振付家決定!!

1996年に「新進振付家の発掘・発信・育成」を目的にスタートし、国内では唯一、毎年開催される国際的なコンテンポラリーダンス・フェスティバル「横浜ダンスコレクション」。このフェスティバルのメインプログラムであり、アジアに門戸を開くコンペティションの本選出場者が、選考会を経て、決定いたしました。

今年は、15カ国176組の応募があり、「コンペティションⅠ」からは10組（日本・韓国・マレーシア）、「コンペティションⅡ」からは12名が本選へ出場します。新たな才能が発掘される本選は、2016年2月4日（木）～7日（日）に横浜赤レンガ倉庫1号館にて開催します。



Photo: Hideo MORI



Photo: Yoichi TSUKADA



Photo: Yoichi TSUKADA

横浜ダンスコレクション 2016

期 間： 2016年1月23日（土）～2月14日（日）

会 場： 横浜赤レンガ倉庫1号館ほか

コンペティションⅠ:

15カ国133組の応募の中から既存の概念から一歩踏み出し、新しい身体表現への挑戦を試みる振付家10組が本選に臨みます。

本選：2016年2月6日（土）・7日（日） 会場：横浜赤レンガ倉庫1号館 3Fホール

■本選出場者（五十音順、出身地、年齢＝2015年7月20日応募締切時点）:

伊東 歌織（千葉県 34歳）	尾花 藍子（東京都 30歳）
高橋 萌登（長野県 26歳）	浜田 純平（北海道 23歳）
渡辺 はるか（神奈川県 21歳）	飯森沙百合・西山友貴（神奈川県 29歳 / 茨城県 29歳）
大園康司・橋本規靖（東京都 29歳 / 北海道 28歳）	Aokid × 橋本匠（東京都 27歳 / 東京都 26歳）
Cheol In JEONG（韓国 27歳）	Chee Lai YEOW / Fung Ing HII（マレーシア 35歳 / 36歳）

コンペティションⅡ：新人振付家部門

平均年齢22.5歳、最年少20歳から合計43名の応募がありました。本選では、25歳以下、これから本格的に振付家を目指す新人アーティスト12名が、身体での表現に焦点をあて、チャレンジ精神ある作品を上演します。

本選：2016年2月4日（木）・5日（金） 会場：横浜赤レンガ倉庫1号館 2Fスペース

■本選出場者（五十音順、出身地、年齢＝2015年7月20日応募締切時点）:

内田 恭太（神奈川県 21歳）	江上 真子（埼玉県 23歳）
大北 悟（徳島県 22歳）	栗原 千亜紀（東京都 24歳）
栗屋 瑞葵（鹿児島県 22歳）	酒井 直之（埼玉県 24歳）
坂藤 加菜（東京都 22歳）	柴田 菜々子（静岡県 25歳）
下島 礼紗（鹿児島県 22歳）	田村 興一郎（新潟県 23歳）
山口 将太郎（鹿児島県 23歳）	涌田 悠（東京都 24歳）

〈横浜ダンスコレクション2016概要〉

会期：2016年1月23日（土）～2月14日（日）

会場：横浜赤レンガ倉庫1号館ほか

21年目を迎える横浜ダンスコレクション2016は、韓国、マレーシア、シンガポール、フィンランド、日本のアーティストによる作品上演やワークショップ、無料で観ることができるプログラム等、国際ダンス・フェスティバルとして、多彩な内容で開催します。

※プログラムの詳細は、今後決定次第、随時発表してまいります。



写真：森日出夫

横浜ダンスコレクションの歴史：

- 1996年 バニョレ国際振付賞（フランス）のジャパンプラットフォームとして、“若手振付家の発掘・発信・育成”と“コンテンポラリーダンスの普及”を目指し、スタート。
- 2000年 在日フランス大使館の協力により、「ソロ×デュオ・コンペティション」を開設し、ジャパンプラットフォームと同時開催。
- 2003年 会場を横浜ランドマークホールから、横浜赤レンガ倉庫1号館へ移す。
- 2005年 “ダンスマーケットの構築”を目指し、【横浜ダンスコレクションR】とリニューアル。コンペティションは、アジアにも門戸を開き、「ソロ×デュオ・コンペティション+（プラス）」として、グループ部門を新設。無料で観ることができるプログラムも展開。海外の劇場などのディレクターやプログラマー等を招聘し、ネットワーク形成に努める。
- 2011年 さらなる参加アーティストの発信性を高めるため、【横浜ダンスコレクションEX】として再出発。プログラムも改編し、既存のコンペティションを引き継ぐ「コンペティションI」に加え、振付経験がない世代へ創作機会創出のため「コンペティションII 新人振付家部門」新設。“若手振付家の才能と創造を発信するダンス・フェスティバル”として認知され、日本において国外にも門戸を開く唯一の振付家のコンペティションとなっている。また、海外の劇場やフェスティバルとのネットワーク形成・連携にも力を入れ、若手振付家の海外進出の機会に繋がっている。
- 2015年 記念すべき20年目を迎え、横浜ならではの地域に根付く国際的なフェスティバルを展開。
- 2016年 文化庁「平成27年度文化庁国際芸術交流支援事業」に採択され、国際ダンス・フェスティバルとして、再構築。公演プログラムに現代美術作家の参加やコンペティションの審査員に劇作家・演出家を加えるなど、アーティストの発信性のみならず、観客層、参加アーティストの拡大も目指し、多彩なプログラムを開催予定。

これまでコンペティションから輩出した振付家は305組。その受賞者として伊藤キム、白井剛、黒田育世（BATIK）、伊藤千枝（珍しいキノコ舞踊団）、山田うん、伊藤郁女、チョン・ヨンドウ、康本雅子、KENTARO!!など、国内においても芸術分野のみならず、教育・福祉・メディアやエンターテイメントなど多岐にわたり、活躍を見せる振付家を数多く輩出。国内外のダンスネットワークの中心として、近年、中村蓉などをルーマニアのシビウ国際演劇祭を始め、海外のフェスティバルに送り出すなど、若手振付家のステップボードとして、着実に実績を残している。

※ぜひ当事業の取材、情報掲載をお願い申し上げます。
取材の際は、事前にご一報ください。広報用画像の提供が可能です。

お問合せ

公益財団法人横浜市芸術文化振興財団

〒231-0001 横浜市中区新港1-1-1 横浜赤レンガ倉庫1号館
TEL:045-211-1515 FAX:045-211-1519 MAIL:ydc@yaf.or.jp
<http://www.yokohama-dance-collection-r.jp/>